

食育だより 1月

令和 8 年 1 月 号
(毎月 19 日は食育の日)
船橋市立古和釜小学校
おうちのひととよんでください

2026 年が始まりました。今年も食事・運動・睡眠を大切に、丈夫な体をつくってほしいと思います。今年もみなさんが元気に過ごせるよう給食室全員で力を合わせて、食生活の面からサポートしていきます。寒い日が続いますが、換気や手洗いをしっかり行い、風邪を引かないように気をつけましょう。

＊＊ 1月 24 日～30 日は全国学校給食週間 ＊＊



日本の学校給食は明治時代、山形県鶴岡市でお弁当を持ってこられない子供たちのために、おにぎりと焼き魚、漬物などを提供したのが始まりです。その後、全国各地へと学校給食が広まっていますが、戦争の影響で中断されてしまいました。

戦争が終り、子供たちの栄養状態を改善するため、海外から援助物資で学校給食が再開されることになりました。そして、昭和 21 年 12 月 24 日に給食用物資の贈呈式が行われ、この日を「学校給食感謝の日」とすることが定めされました。昭和 25 年度から冬休みと重ならない 1 月 24 日～30 日の 1 週間を「全国学校給食週間」とし、学校給食の意義や役割について関心を高めることなどを目的に、全校で様々な行事が行われています。



～ 古和釜小学校の学校給食週間 ～

- 26 日(月)：千葉県の特産品であるイワシを使った「イワシ団子汁」を提供
- 27 日(火)：昭和 27 年ころの給食を再現した「タイムスリップ献立」を提供
「コッペパン」、「クジラの竜田揚げ」など
- 28 日(水)：「船橋産の旬の食材を食べて知る日」として、船橋産のお米を使用
- 29 日(木)：世界の料理 アメリカの炊き込みご飯「ジャンバラヤ」を提供
- 30 日(金)：明治 22 年に日本で最初に食べられていた給食を再現
「おにぎり」、「魚のつけ焼き」など



＊＊ 様々な節分 ＊＊

2 月 3 日は「節分」です。豆まきをして災いを追いはらう行事が全国で行われますが、各地で違いがあります。

かけ声	まく豆	食べ物
多くは「鬼は外、福は内」と唱えますが、名前に「鬼」がつく神社や鬼と縁のある地域では「鬼は内、福も内」と唱えたり、「鬼は外」の部分は唱えなかったりします。	いり大豆をまく地域が多いですが、北海道、東北、信越、九州南部など、殻つきの落花生をまく地域もあります。後で拾いやすく、清潔なことが理由といわれています。	まいだ豆を歳の数だけ食べる他、いわしを焼いて食べる、けんちん汁や太巻きを食べる、こんにゃくを食べるなどの風習が、各地で残っています。

「学校給食 PR 展」が開催されます！

令和 3 年度から開催されてきた学校給食 PR 展は今年度で 5 年目となります。今回は、旬の食材を使用した献立の写真や、葉円台小学校 2 年生の農業体験（葉円台高校園芸科との交流）の様子をパネルで紹介します。さらに、ふなばし市学校給食青果部会主催の「おいしい給食絵画コンクール」入賞作品の展示も行います。ぜひお立ち寄りの上ご覧ください。

《日時》 2 月 24 日(火)～2 月 27 日(金)
8 時 45 分～17 時 15 分(最終日は 16 時まで)

《会場》 市役所 1 階美術コーナー

※市民文化ホールで開催していた「学校給食展」は行いません。

(問い合わせ先 船橋市教育委員会保健体育課 047-436-2875)